

千代田

No.137

2017

1.25

議会だより



平成28年12月定例会

第4回 議会報告会を開催……………P. 3

平成28年度 一般会計補正予算を可決・P. 5

一般質問 そこが聞きたい……………P. 7

委員会のうごき……………P.14

視察研修レポート……………P.16



表紙の説明は18ページをのぞってください



QRコードを読み込むと、議会ホームページが開けます

明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、希望に満ちた新春を健やかに迎えのことに心からお慶びを申し上げます。また、平素より私ども議会の活動に対し温かいご支援とご協力を賜り、議員一同心より感謝申し上げます。

昨年は熊本地震をはじめ相次ぐ台風の上陸など災害の多い年であり、改めて自然の驚異を痛感させられました。また、リオ五輪では史上最多のメダルを獲得し、日本国中が沸いた年でもありました。

千代田町では、人の交流促進として、地方創生加速化交付金事業による地域の特長を生かしたイベント事業を開催し、活力溢れた地域社会の実現に向けて進んでおります。今年は町制35周年となり、さらににぎわいのあるまちづくりを目指し、多くの方にお越しいただけるような事業を展開するとともに、町の活性化につながる商業施設の誘致や、新規工業団地の推進、利根川新橋建設促進なども早期実現に向けて進めなければなりません。魅力あるまちづくりのために、町と議会と一致協力しながら各事業の実現に向けて取り組んでまいります。

町民の皆様との対話を通じて、町政やまちづくりに対するご意見を広く聴き、今後の議会活動に生かしてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

迎えた新年が、町民皆様にとりまして輝かしい一年となりますようご祈念申し上げます、ご挨拶といたします。

千代田町議会議長 襟川 仁志



新年のごあいさつ



◎福祉産業常任委員会

委員長 高橋 祐二
副委員長 大谷 純一
委員 青木 國生
細田 芳雄
森 雅哉
橋本 和之

◎総務文教常任委員会

委員長 川田 延明
副委員長 酒巻 広明
委員 柿沼 英己
小林 正明
大澤 成樹

議長 襟川 仁志
副議長 高橋 祐二

第4回

日時・会場 11月5日(土) 午後6時30分～／町民プラザ 講義室
11月8日(火) 午後6時30分～／総合体育館 多目的室

議会報告会 を開催しました！

今回で4回目となる議会報告会を2会場で開催しました。

平成27年度一般会計決算、各常任委員会の活動状況などを報告し、その内容についてのご質問やご意見等をいただきました。



観光

Q 本町には姉妹都市がないが、例えば海のある市町村等の海産物と千代田町の農産物の相互販売、イベントの相互PRなど観光につながるような交流はできないか。

A 観光については町長も積極的であり、なかさと公園のイベントも今年は多くの人が集まりました。議会として検討し、行政に提案をしていきます。



地方創生

Q 鉄道の駅がなく、路線バスは充実していない。朝のバスの本数が増えるようお願いしたい。

A 運転手不足のため、本数が減ってきています。今後、行政に要望したり協議を進めていきたい。

財政力指数

Q 郡内の数値を教えてください。

A 千代田町は0.797、邑楽町が0.76、大泉町が1.089、明和町が0.677、板倉町が0.57です。



財政力指数

地方自治体が支出する予算のうち、自前の税収でどれだけ賄うことができているかを示す数値です。これが1.0以上だと、国から地方交付税を受けていない、いわゆる「不交付団体」になります。

企業誘致と 交通インフラ

Q 本社機能を持つ企業を呼ぶためにも、幹線道路を作って欲しい。人口増にもつながる。

A 幹線道路については、都市計画道路で赤岩新福寺線を進めています。まだ80%の土地の買収しか終わっていませんが、平成32年までには、着工できるように委員会等でも協議していきます。



子育て、定住、 移住支援

Q 子どもの数が年々減っていて、色々なアプローチで手を打つ必要があると思うが、どのように考えているのか。

A 平成28年3月に、人口ビジョンと総合戦略を町で策定しましたが、その中に、子育て、結婚、定住、移住支援などがあり、4月から実施しています。議会でも、魅力あるまちづくりを考えていきたい。

財 政



Q 累計の町債（借入金）が36億円で積立金が26億円。実質の町債は差し引き10億円となっている。平成27年度は町債が約3億3千万円、返済額が約3億8千万円。これは5千万円を毎年返済しているとみてよいか。

A 本年度において言えばそういう事になりますが、年度によって借入額が異なるので、返済額も変わってきます。また、利息の安いところに借り替えたりもしています。

水道事業会計

Q 特別会計の水道事業会計の中で資本的収支におけるマイナス表記は何なのか。

後日、説明します。

A



水道事業会計は複式簿記のため、工事の支出は資本的収支ではマイナスの表記となりますが、その費用は収益的収支の減価償却費として計画的に積み立てた内部留保資金より補填していますので、経営的には赤字ではありません。



平成28年 12月定例会

12/8 → 12/15
…8日間

《本会議》

8日 一般質問
9・15日 議案審議

《委員会》

12日 総務文教
13日 福祉産業

条例の制定及び改正、平成28年度一般会計及び特別会計補正予算、発議などの議案17件が上程され、慎重なる審議の結果、すべて原案どおり可決されました。

また、初日には6名の議員が一般質問に立ち、町の考え方について質問しました。

一般会計補正予算 (第5号)

問 歳入では、事業費の増加により民生費及び教育費の国庫支出金及び県支出金などが追加されました。歳出では、舞木土地区画整理組合の返還金による公共施設建設基金への積み立てが行われました。まち・ひと・しごと創生事業費については、おもてなしマラソンの事業費が、教育費の教育振興費では対象者の増加を見込み、就園奨励費がそれぞれ追加されました。

答 交通安全対策費はどの様に活用するののか。

答 安全確保のため、路面表示等の修繕に活用します。



総合体育館に新たに設置した最新マシーン

問 新しい雇用環境事業費はどの様に活用するののか。

答 新規工業団地造成事業に伴い治水対策として必要な調整池の算定調査委託料を計上しています。

問 スポーツ振興くじ助成金で購入したマシンの活用方法は。

答 多くの方に利用していただきたいので広報等で周知して

いきたいと考えています。

問 道路新設改良整備事業費はどの様に活用するののか。

答 中学生の通学路にもなっている、赤岩郵便局から東側に延びる道路200メートルの道路改良工事に伴い、農業用水路等の危険箇所を改善するために活用します。

千代田町中小企業・小規模企業振興基金条例の制定

問 現在、町内の企業数は。その内、商工会に加入している会員数は。

答 町内事業所数は約530社で商工会会員数は約300社です。1社でも多く会員になっていただき、地元業者の保護育成も含めて進めていきたいと考えています。

千代田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

問 職員の給与改正による予算の増額はあるののか。

答 対象者は49名で給与は48万2000円増、手当は386万3000円の増加となります。

平成28年度 一般会計・特別会計補正予算

項目	補正額	補正後予算額
臨時会		
一般会計(第4号)	4,611万6,000円	50億2,937万2,000円
一般会計(第5号)	2,728万4,000円	50億5,665万6,000円
国民健康保険特別会計(第2号)	△1,303万6,000円	16億4,681万4,000円
後期高齢者医療特別会計(第1号)	30万9,000円	1億0,111万2,000円
介護保険特別会計(第2号)	△3,901万9,000円	9億4,627万7,000円
下水道事業特別会計(第3号)	19万4,000円	3億1,579万6,000円



教育委員会委員の同意

教育委員会委員の任命について同意を求める提出があり、同意いたしました。

再任 吉羽 静江氏 (邑楽町大字中野)

新任 増田 秀紀氏 (千代田町大字赤岩)

10/14

第5回臨時会

一般会計補正予算 (第4号)

情報システム事業の基幹系データ提供作業に係る補正予算が1件上程され、可決されました。

【問】情報システムの更新に伴う変更理由と安全性について問う。

【答】システムの更新によりコスト削減・住民への良好な情報提供が可能となります。

また、邑楽郡内でシステムの共同化の予定となっていて、災害時の相互利用や業務継続が図れ、耐震設備・警備関係もしっかりとしていますので、安全も確保できるものと考えています。

意見書

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について」の発議が議会運営委員長より提出されました。

全員賛成により可決
← 関係行政庁に意見書を提出

審議議案と議員の賛否(第5回臨時会・第4回定例会)

	議 案 名	議 員 名												議 決 結 果 (賛成:反対)
		大澤成樹	酒巻広明	橋本和之	大谷純一	森雅哉	川田延明	高橋祐二	小林正明	柿沼英己	細田芳雄	青木國生	襟川仁志	
第5回臨時会														
議案38号	平成28年度千代田町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
第4回定例会														
議案39号	太田市外三町広域清掃組合の規約変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案40号	千代田町中小企業・小規模企業振興基本条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案41号	千代田町農業委員会に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案42号	千代田町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案43号	千代田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案44号	千代田町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案45号	千代田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案46号	千代田町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案47号	千代田町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案48号	平成28年度千代田町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案49号	平成28年度千代田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案50号	平成28年度千代田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案51号	平成28年度千代田町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案52号	平成28年度千代田町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
同意10号	千代田町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意(11:0)
同意11号	千代田町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意(11:0)
発議1号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します(○は賛成、×は反対、欠は欠席)

そこが聞きたい 6 議員が登壇

一 般 質 問

一般質問とは、議員の立場から、町長や町の各行政機関の長に対する町政運営全般における事務執行の状況や、将来に対する方針等について所信をただし、あるいは、報告・説明を求め、または疑問を問いたすことをいいます。

ページ	質 問 者	質 問 項 目
8	小林 正明	①空き家住宅管理の推進について
9	森 雅哉	①川せがきの交通整理の対応について ②「いのちの笛」の活用について
10	橋本 和之	①18歳選挙権について ②地方創生加速化交付金事業の来年度予算反映について ③舞木土地区画整理事業について
11	大谷 純一	①不登校対策について ②教育長の職責とは
12	大澤 成樹	①子供の貧困対策と学力向上について ②小中学生の電子端末機器の適正な利用について ③町内全ての公共施設内及び街路樹を対象とした樹木調査について
13	高橋 祐二	①ゴミの減量に向けた政策について ②地方創生加速化資金の成果について ③行政運営について



空き家住宅管理の推進について

【町長】協議会等の設置を検討していきたい



危険を伴う特定空き家（イメージ）



小林 正明 議員

MASAAKI KOBAYASHI

問 空き家、特定空き家への認識、考え方について問う。

町長 以前は住民が住み、今では誰も住んでいない住宅であり、倒壊の危険や衛生上有害となる恐れのある住宅と認識していて、対策を検討しています。

問 空き家等対策担当者会議、委員会、そして相談窓口設置について問う。

町長 今回の実態調査の結果などを踏まえ、窓口の一本化も検討していければと考えています。

問 空き家活用対策は行政担当者だけでなく、地域住民と一体となつて進めるべきと思うが。

町長 地域住民との連携は色々な事をクリアしないといけない部分もありますが、所有者、管理者への意向調査の結果も踏まえて本町に

合った対策を今後進めていきたい。

問 空き家等対策計画の策定、協議会の設置、立ち入り調査、空き家等所有者情報の利用、特定空き家への対応について問う。

町長 実態調査の結果を踏まえ、対策計画・協議会の設置を検討し、立ち入り調査については必要に応じ対応していきたい。特定空き家の対応については、空き家等対策計画の策定など総合的に検討をしていきます。

問 空き家バンク制度について問う。

町長 良好な状況の空き家、そして危険を伴うような特定空き家等の実態をデータベース化し、所有者の意向を踏まえた中で検討していきます。

問 補助金の制度について問う。

町長 空き家に限らないですが、今年度より開始した住宅リフォーム補助金事業もあるもので活用していただきたい。

空き家の利活用で町おこしができたらいいなあ…

来年の川せがき外部業者委託について

【町長】関係団体と相談し検討していきたい



森 雅哉 議員
MASAYA MORI

\\つぶやき\\

いのちの笛（ウインドストーム）は米国の沿岸警備隊などでも使われ、日本では防災用品として話題になっています。

問 今年は地方創生加速化交付金を使い、川せがきの交通整理等を外部に一部委託したことで、役場職員が来場者の立場で参加することができた。良い点は更に磨きをかけ、悪い点は改善していく事ができると思うので、来年も外部業者への委託を検討してみたい。

町長 職員が客観的に見るにより、新たな発見や改善点に気づくことができたと思います。そして、家族との時間が生まれることで士気も上がり、よいイベントになっていくことが期待できます。

問 議員研修会や千代田町防災講演会で講師の先生が勧めていた「いのちの笛」があり、これは、約800m先まで聞こえるように設計されていて、人の耳に聞き取りやすい3150ヘルツの周波数で調律され、水中でも音が出る。これを全町民

防災対策について

【町長】 新年度は町制35周年を踏まえ防災グッズの配布を考えています

た。来年については、関係団体の多くの方に協力をいただいているため、今の段階では考えていませんが、関係

に配布をしたらどうか。

町長 災害があった場合や、子どもたちの防犯対策ということで役立つものだと思いますが、値段が高価ということもあり、全町民に配布することは現在考えていません。町内で「いのちの笛」を取り扱ってくれる販売店が

あったら紹介をしていきたい。



いのちの笛

本町の18歳選挙の投票率は

【町長】 県平均・全国平均を上回る結果となりました



橋本 和之議員

KAZUYUKI HASHIMOTO

【問】 18歳選挙権が導入され、各地で20歳未満の投票率が全体の投票率よりも低くなったという結果があるが、本町の対策は。

【町長】 「広報ちよだ」やホームページ、チラシの全戸配布などを通して啓発活動を行い、県平均や全国平均を上回る結果となりました。

地方創生加速化交付金事業の来年度予算反映は

【町長】 多少の減額はやむを得ないと考えています

【問】 本年度、地方創生加速化交付金事業の交付金を使って実施した「川せがき」「オートムコンサート」「トレジャーハント」「産業祭」「ちよだ利根川おもてなしマラソン」について来

年度はどうなるのか。

【町長】 「利根川おもてなしマラソン」を含めて事業は継続したいと考えています。本年度と比較すると交付金が来年度は出ないため、事業費の減額はやむを得ないと考えています。

【問】 本年度、地方創生加速化交付金事業の交付金を使って実施した「川せがき」「オートムコンサート」「トレジャーハント」「産業祭」「ちよだ利根川おもてなしマラソン」について来

年度はどうなるのか。

得ないと考えています。

【問】 ふるさと納税の返礼品として機軸席を用意してはどうか。

【町長】 予算の都合上、設置は難しいと考えています。

【問】 本年度、地方創生加速化交付金事業の交付金を使って実施した「川せがき」「オートムコンサート」「トレジャーハント」「産業祭」「ちよだ利根川おもてなしマラソン」について来

舞木土地区画整理事業の早期の終結は

【町長】 平成28年度中に換地処分完了を目指します

【問】 保留地の売れ残りが11区画あるが。

【町長】 全68区画中57区画売却済みで、残る区画については販売価格の再検討も踏まえ早期に販売完了できるよう判断したい。



未来を築く投票箱

// つぶやき //

交付金は単年度予算であるため、次年度以降の町PR活動はふるさと納税を有効活用して頂きたい。

適応指導教室を中学校外へ!!

【教育長】移転を進めていければと考えている



大谷 純一 議員
JUNICHI OYA

／つぶやき／

適応指導教室が中学校の校外に早くできれば小学生も通えるのになあ…

問 生徒・児童の不登校の原因は何であると考えているか。

問 適応指導教室が本町では中学校の校内にある。そのことについて、どのように考えているか。

町長 子どもが復帰に向けて努力できるような環境・体制づくりを進めたい。また、そのように努力していきたい。

【教育長】 さまざまな原

教育長 中学校が9名、西小4名、東小1名です。

問 小中学校に何名の不登校生徒・児童がいるのか。

問 中学校で不登校の場合、高校に入りづらくなることもあるようだ。このような不幸な生徒を減らす、あるいはゼロにするための対策について問う。

問 学校教育の人事を見ると、小中学校で転入・転出が少なく転補が多いように思うが。

問 千代田町になかなか異動願いが出されないことについて問う。

問 小中学校に何名の不登校生徒・児童がいるのか。

問 千代田町になかなか異動願いが出されないことについて問う。

問 千代田町になかなか異動願いが出されないことについて問う。

問 千代田町になかなか異動願いが出されないことについて問う。

問 千代田町になかなか異動願いが出されないことについて問う。



外部への移転が望まれる
中学校内適応指導教室

教育長 町全体で不登校児童生徒の学校生活への復帰を目指す上で、現在の適応指導教室では不十分な点が多いと捉えています。校外への移転を進めていければと考えています。

と考えています。

教育長の一番大切な職責とは

【教育長】 今現在、学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関することです

子どもの貧困世帯の対策について

【教育長】 就学援助を行っています



ICT教育が望まれる小学校

問 子どもの貧困対策推進法が平成26年に施行され、県でも子どもの貧困対策推進計画が策定された。町内における貧困世帯の現状と今後の対策は。

教育長 経済的理由で義務教育を受けることが困難な児童生徒の保護者に対し、就学に要する経費の援助を行っている。平成28年12月1日現在、就学援助支給世帯は54名分、39世帯です。



大澤 成樹議員

NARUKI OSAWA

教育長 県では、いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待などの課題に対応することを目的に、教育事務所に配置し、県内すべての学校に対応できるようにしています。町には配置されていませんが、必要に応じて派遣してもらうことができます。

今後の取り組みについては、引き続き就学援助を行い、学習支援についても検討していきたい。

問 スクールソーシャルワーカーの配置が必要と思うが、町の考えは。

教育長 小学校では、検索機能を使って社会科や理科、総合学習の授業で主に活用しています。中学校では、1、2年生でワープロや表計算ソフト、写真加工の方法について学習し、3年生ではプレゼンテーションソフトを使用し学習をしています。

児童・生徒1人に1台タブレットの導入は

【教育長】 当面に1台を目標に考えていきます

樹木調査の実施は

【町長】 委託管理業者をお願いしたい

問 町内の学校や公園の街路樹等多くの樹木があるが、定期的な樹木調査が行われているのか。

町長 現在行っている。管理委託している業者に調査も委託したいと考えています。また、問題等があった場合は、担当課に報告していただき協議しながら対応したい。

// つぶやき //

待ったなし！ 子どもの夢を貧困に潰さない
家庭の経済格差が学力格差にならない
「まち」にしないと
なあ～

ごみ減量に向けた政策について

【町長】住民への啓発活動に取り組んでいきます



高橋 祐二 議員

YUJI TAKAHASHI

／つぶやき／

ゴミ排出量ワースト
は不名誉な記録！
みんなでゴミ減量化
の輪を広げていき
たい！

問 本町は1人1日あ
たりのごみの排出量が
県内ワーストであり、
ごみの減量化や再利用
する資源化が必要であ
る。行政の取り組みや、
町民の意識を向上させ
る政策は。

町長 生ごみ処理機購

入費補助金の拡充、リ
サイクル率向上につい
ては各地区において生
活環境委員、町民皆様
の協力により資源回収
を実施しています。ま
た、住民への啓発は重
要なので、広報ちよだ
9月号でゴミ減量化の



新年最初のごみステーション

特集を掲載しました。

地方創生加速化交付金の成果は

【町長】千代田町をPRするイベントが
できました

問 地方創生加速化交
付金の成果について問
う。

町長 今年行った事業
合計で来場者が約1万
3百人の増加、その多
くは、町外からの来場
です。

者であり千代田町をP
Rする絶好のイベント
となりました。また、
おもてなし馬拉ソンの
参加者は、約500名
とほぼ定員となってい

行政運営について問う

【町長】職員と一丸となり、自らスピー
ド感をもって取り組んでいます

問 行政運営と行政
サービスの向上、顧客
満足度の重視、スピー

ド感をもった運営はで
きているのか。
町長 「行政は最大の

「サービス業」と考え、
意識改革に取り組むよ
うにプロである職員に
求め、常に町民目線で
考え、物事を進めてい
ます。顧客満足度の重
視では、職員との意見
交換会を設け、共に知
恵を出し合い、最大限
の町民サービスを心が
け、意識改革に取り組
んでいます。補正予算
において、熱中症計、
GPS機能つき徘徊探
知機、介護慰労金の増
額、イベントの拡充な
どスピード感をもって
取り組みました。

総務文教常任委員会

川田 延明（委員長）
酒巻 広明（副委員長）
柿沼 英己
小林 正明
大澤 成樹

町からの報告事項

≫主な所管事務について

総務課…ふるさと応援寄附金の状況について
空き家調査の状況について

財務課…個人住民税特別徴収の全県一斉指定について
小学校・中学校での租税教室の開催について

教育委員会…学習支援に関するアンケートについて
幼稚園の預かり保育について

主な協議事項

≫子育て支援（幼保一元化）についての意見交換

≫閉会中の継続調査について

主な質疑

問 ふるさと応援寄附金の使い道、返礼品の拡充について。

答 6項目の中で指定できます。

教育文化及びスポーツ振興並びに文化財保全に関する事業が一番多い結果となっておりませんが、できる限り寄附者の意向に沿った形で予算の配分をしたいと考えています。返礼品については、拡充に努めたい。

問 学習支援活動は、いつ頃から実施できますか。

答 実施することになった場合、指導をする人材が一番問題になるかと思いますが、平成30年度には実施を予定しています。

問 学習支援指導者

を町で募集して中学生の部活動に協力してもらったかどうか。

答 社会教育の場ではお願いできる事がありますが、部活動では難しい所があります。

問 通級指導を受けている子どもは、何名いるか。

答 西小6名、東小3名です。西小のことの教室で発音等の勉強を定期的に行っています。

意見交換

【子育て支援（幼保一元化）について】

問 幼保一元化プロジェクトチームはあるか。

答 現状ではありませんが、各園長、住民福祉課、教育委員会の担当で幼保運営連携会議を行い協議をしています。

問 今後町としての考え方は。

答 現在、公立の認定こども園には運営に係る補助金制度がありません。費用面等を考え様々な課題を検討しています。

人材では保育士幼稚園教諭両方の資格を持った方を採用しています。今後は先生の人事交流を通じて連携を深めていく必要があると考えています。



幼稚園の預かり保育

福祉産業常任委員会

高橋 祐二 (委員長)
大谷 純一 (副委員長)
青木 國生
細田 芳雄
森 雅哉
橋本 和之

町からの報告事項

≫主な所管事務について

住民福祉課…西保育園増築の進捗について

臨時福祉給付金について

環境保健課…保健センターまつり結果報告について

粗大ごみ回収の報告について

経済課…産業祭結果報告について

都市整備課…定住移住促進事業の報告について

新規工業団地の進捗について

主な協議事項

≫道の駅についての意見交換

≫閉会中の継続調査について

主な質疑

問 粗大ごみ回収における消火器の回収費用はどのようになっているか。

答 小サイズは500円、大サイズは900円となっています。

問 臨時福祉給付金の対象者を把握しているか。また、申請をしないと給付されないのか。

答 全国一斉に行われ、申請制です。非課税者等に申請書を送付していますが、全ての給付条件を把握できないため、申請制としています。また、申請後の審査もあります。

問 耕作放棄地や荒れている土地が多く見られるが、どのような管理指導をしているのか。

答 耕作放棄地の所有者に通知を出して対応をもらうようにしています。

問 町の基幹道路(利根大堰道路改善)大利根工業団地からサントリー西側の直線化、赤岩新福寺線から保健センター東側の直線化)の整備について問う。

答 千代田町の都市計画マスタープランで位置付けしている路線もあります。平成28年度では、赤岩新福寺線から広域農道を結ぶルート検討を行っています。今後、近隣や館林土木事務所等と連携を取りながら進めていきたい。

問 ふれあいタウン上中森エリアの凸版印刷所有の土地は、どのような計画になっているのか。

答 まだ具体的な計画は聞いていません。

意見交換

道の駅について

問 利根川を有効活用したマリンスポーツをメインとした駅を作ってはどうか。

答 ほかの駅に対抗

できる核となるような特産物がないため難しいですが、マリンスポーツについては有名です。利根川については国土交通省との関係もあるもので、将来的には新橋完成を見すえて、調査や研究をしていきたいと思っています。



放棄された耕作地

霧島市

霧島市は、鹿児島県の中央部に位置し、国立公園の霧島連山錦江港に接した、海・山・川・温泉など多彩で自然豊かな、人口約12万6,200人の都市です。

市議会では、より市民に開かれた議会にするため、意見交換を充実される内容へ転換し、さらに市民グループとの意見交換も導入しました。

平成23年に第1回議会報告会を開始、9回目以降は「議員と語り合い」として実施し、年間4回開催しています。そのうち2回は公募による市民団体等の意見交換会として行っています。

議会の一方向的な報告から意見交換を重視する内容に変更されました。検討が必要な意見は、常任委員会で調査・研究を行い、結果は「議会だより」や「市議会ホームページ」に掲載しています。

また、議会だより編集特別委員

会を「広報広聴常任委員会」へ変更、設置をしました。理由としては、議会基本条例において「市民に開かれた議会、市民参加機会の拡充、市民との連携」が規程されていて、議会広報の担う役割や活動範囲の拡大、議会報告会の業務量が増加したことがあげられます。

今回の研修で学んだ内容を再確認し、今後の議会活動に役立てていきたいと考えています。

小林 正明 記



垂水市

行ってみたい道の駅ランキングで常に上位の桜島昭和火口が間近に見える絶景の道の駅たるみずで研修してきました。

利用者の8割が市外の方で、県外の観光客も非

常に多く、単に情報発信や物産館としてではなく、観光施設として日本最大級の足湯（全長60m）、錦江湾沿いのボードウォーク、レンタサイクル等の付属設備も充実していました。

また、立寄りたい観光スポットとして、観光・旅行情報誌やタウン誌、テレビ等のメディアに取り上げられることが多く一番の販売促進となっています。平成17年4月に総事業費約6億3千万円をかけオープン。来場者は年間70万人、売上高は年間平均4億円を超えています。管理運営は公募により民間企業の指定管理者制になっています。

千代田町において、道の駅（川の駅）をつくるには、観光資源がなくメインとなる特産物も見当たらない状況です。

今後は、切望されている利根川新橋と合わせて、新たな観光資源を創り出すことが急務だと思います。

高橋 祐二 記



議会全体研修

視察研修 レポート

日 時：平成28年10月4日～6日

場 所：熊本県熊本市、鹿児島県霧島市、鹿児島県垂水市

熊本地震と 議会改革について学ぶ

参加者：襟川 仁志・青木 國生・細田 芳雄・柿沼 英己・小林 正明・高橋 祐二・川田 延明・
森 雅哉・大谷 純一・橋本 和之・酒巻 広明・大澤 成樹
高橋 純一（町長）

熊本市

熊本県の県庁所在地である熊本市は74万人を誇る一大都市で、平成24年に政令指定都市に移行しました。

同年4月1日には、市民が住み続けたい誰もが住みたくなるまち「上質な生活都市」を目指して、熊本市第7次総合計画が開始されました。

平成28年4月14日午前9時26分に震度6弱、翌々日の4月16日午前1時25分に本震と思われる震度6強の地震が発生しました。街のシンボルである熊本城の被害はあまりにも印象的であります。熊本市ではより正確な状況を把握する事が最優先でした。

8月31日の時点での被害額の試算は1兆6,362億9千万円となっていますが、復興に向けた様々なプロジェクトを立ち上げ、市民力、地域力、行政力を結集して明日を見据えた復興に取り組んで



まいりますとの事でした。

プロジェクトの1つに「熊本城の復旧」がありました。熊本城が元の姿へもどった時に復興が見えて来るのかなと思います。

私たちはテレビ等のニュースや報道番組で地震の被害や恐ろしさを感じていたわけですが、実際に現地を目の当たりにしまして愕然としたことを覚えています。

幸いにして近年千代田町では大きな災害はありませんが今後、今まで経験したことのない大型台風や大雨による河川の氾濫等の災害を受ける危険性があります。避難場所や避難方法、そして自分のなすべき行動、2次災害がおきないよう全ての町民が防災・減災を学ぶ必要性を感じました。

本町は地域防災組織率が大変少ないようです。住民の協力のもと、自主防災組織を立ち上げ、被害の防止及び軽減を図る活動を行うべきと思います。

川田 延明 記

千代田町の
元気の源 Vol. 31

千代田パッチワーク倶楽部

代表者：町田 宣子さん(赤岩)
鷺頭 末枝さん(赤岩)



季節折々の花や干支などを作り楽しんでいます

会員は現在11名で、竹淵千絵先生指導のもと活動しています。また、ほとんどの方が10年以上続けています。

パッチワークは針仕事の奥深い手工芸品ですので、作品作りに非常に時間を必要とします。そのため小さい物で1～2週間、大きくなると3ヶ月から半年に及ぶ物もあります。作品を作るに当たり、布の色目や組み合わせを替えるだけで全く違う作品になるのが面白いところでもあります。

現在、教室では今年の干支である酉をモチーフに壁掛けを作っています。大変な所もありますが作品が完成したときの達成感と満足感がとても嬉しく楽しいです。



現在制作中の今年の干支である酉の壁掛け



取材議員の
ひとこと

とても和やかな雰囲気で行われていて、熱心に取り組まれている姿が印象的でした！

川田

議会を傍聴しませんか？

次回の定例会は、

3月7日(火)～3月17日(金)の予定です
(一般質問は初日の午前9時からです)



会議録は町のホームページからご覧になれます

千代田町議会



議会広報編集委員会

委	委	委	委	委	委	副	委
員	員	員	員	員	員	委員長	員
大	酒	橋	大	川	高	森	小
澤	巻	本	谷	田	橋		林
成	広	和	純	延	祐	雅	正
樹	明	之	一	明	二	哉	明



今号の表紙

「障害と共に生きる」講師：塚本京子さん
12月13日、千代田中学校で「車いすバスケット体験」が行なわれました。
実際に車いすに乗り、悪戦苦闘しながらもゴールを目指し、車いすバスケットを楽しんでいました。
議会だよりに掲載された写真を無料で差し上げます。
詳しくは議会事務局まで ☎(86)7009